

クローズアップインタビュー

歩いて、休んで、話をして。  
定禅寺通を人と人が  
自然に交流できる  
すてきな憩いの空間に。



「LIVING STREET PROJECT」代表者  
有限会社とびばいさ甘座 工場長  
わたなべ きよみ  
渡邊 靖水氏

プロフィール

1974年仙台市生まれ。血液型O型。  
父親が創業した洋菓子店「甘座洋菓子店」の工場長を務める。洋菓子をつくる父親の姿に憧れて、パティシエを目指し、1996年にシュガークラフトのケーキデコレーター資格を習得。その後は各方面で工芸菓子の指導に力を注ぎ、宮城県洋菓子協会常務理事としても、洋菓子業界の活性化に尽力している。「生まれも育ちも、仕事も子育てもすべてここ、定禅寺通が拠点です」と話す。

憩いの場所をつくって  
利用者の「声」を集める

「LIVING STREET PROJECT」の概要を教えてください。  
定禅寺通エリアの将来像を描くために、このエリアの活性化や、さらなる魅力向上につながる取り組みなどの検討を行う「定禅寺通活性化検討会（田村忠嗣会長。仙台市と仙台商工会議所が事務局を務める）」の活動の一つとしてスタートしたプロジェクトです。定禅寺通を地域の皆さまの日常的なコミュニケーションの場として利用していただくことで、地元コミュニティの強化や「定禅寺愛」を育むことを目的に実施しています。プロジェクトメンバーは定禅寺通に店舗を構えている皆さんで、小野久雄米穀店さん、かきやさん、甘栗の仙台イシイさん、ピッツェリア・デ・ナプレさん、本家かまどやさん、吉岡表具店さん、そして私も甘座です。

このプロジェクトを考えたのは、3年ほど前に、まちづくりを担う新たな人材の発掘や育成を行ったり、民間の遊休不動産、公園、道路などの公共空間の活用を推進する「せんだいりノベーションまちづくり」という仙台市の活動に参加させていただいたのがきっかけです。その活動の中で、地域住民の方々と事業者、大学の先生、他県からの応援の方など、さまざまな視点でのお話を聞き、定禅寺通の活用について考えたいと思いました。そして、私が生まれたときから過ごしてきた定禅寺

通を、さらにすてきな場所にできないかと思っただけです。  
「どのような経緯をたどり、どのような活動を行っているのですか。」  
この活動を始めるにあたって、定禅寺通のグリーンベルトが公園の扱いであると聞き、以前から抱いていた「この通りを憩いの場のような空間にできない良いのではないか」という思いを具現化できるような気がしました。また、晩翠通りを挟んで国分町のある東側のエリアから私どもの店舗のある西側のエリアを見たとき「良い意味で落ち着いているけれども、暗いイメージがある」とも聞きました。こんなに多くの人が暮らしているのに、暗いと思われるのは意外でした。それならば、まず住人の方々にこの通りに出て



1回目（6月4日～17日まで実施）のプロジェクト実施時の定禅寺通の様子。友人同士でのお茶会をはじめとした屋外ならではのさまざまな光景が見られた。

きてもらおうと考えたのです。イベントで人を呼ぶのではなく、通り沿いに滞在できる場所を設けて、自宅のリビングのようにくつろぐことができる。あるいは、自宅に帰る前の寄り道として、この通りを考えていただけたらと思います。そうなれば、将来的には経済効果も期待できます。このようなことから、手をつなげる距離にあるお隣さんに声をかけ、このプロジェクトを開始しました。

実際に行っているのは、テーブルと椅子をおのおいのメンバーが設置、管理をして、地域の方々と通りすがりの方に座っていただくことです。そして、そこで過ごした感想をアンケートという形で収集しています。この社会実験の1回目として、6月4日から2週間実施しました。2回目は7月22日から9月5日まで実施し、秋から冬にかけて3回目の実施も計画中です。

ルールを守って  
どなたから挑戦

「テーブルと椅子を設置してみても、手応えはありましたか。」

「待っていた」とか「いままでなかったのが不思議」というように、地域の皆さまから歓迎していただいている声が多く、大変うれしく思っています。今は社会実験の段階ですので、期間を限定して実施していますが、これからはマイナスのご意見も積極的に伺いつつ、今後のプロジェクトに生かしてい

きたいですね。今回は夏場の課題を洗い出すために実験を行ったわけですが、七夕まつりなどの多くの人が想定されるイベント期間中は、安全を最優先してお休みしました。今後は、警察や仙台市の方々と連携をより強固にして、光のページェントなどの開催期間中も実施してみたいと思っています。

「このプロジェクトに参加して、気づいたことなどはありますか。」

たくさんあるのですが、特に椅子一つでも、まちの通りに出す許可を得ることは、関係各所のご理解とご協力が必要になれば成し得ないことであると痛感しました。このことから、私たちは「できないならやらないうち」ではなく、ルールをしっかり守りながら、できることからやるという姿勢で臨むことが大切であることを学びました。

子どもからお年寄りまで  
安心して暮らせる通りに

「最後に、定禅寺通の今後への思いをお聞かせください。」

私が子どものころは、住民同士での関わりが今よりも密で、定禅寺通を通る子どもたちを近所の大人たちは皆、あたたかく見守っていました。私は、そんな大人たちに声をかけられて育った世代なのです。これからの将来を担う子どもたちにも、このような体験を実感してもらいたいと思っています。私の幼少期の頃の定禅寺通は、青葉ま

**【概要】**  
**有限会社とびばいさ甘座**

代表者：渡邊 敬介  
設立：1968年12月11日  
資本金：300万円  
事業内容：洋菓子の製造販売  
所在地：仙台市青葉区立町26-16  
TEL：022-263-7229  
営業時間：10:00～19:00  
定休日：月曜日

より良い環境をめざす。

**青葉環境保全 AOBIA**

〒984-0037 仙台市若林区蒲町19-1 TEL 022(286)3161(代)